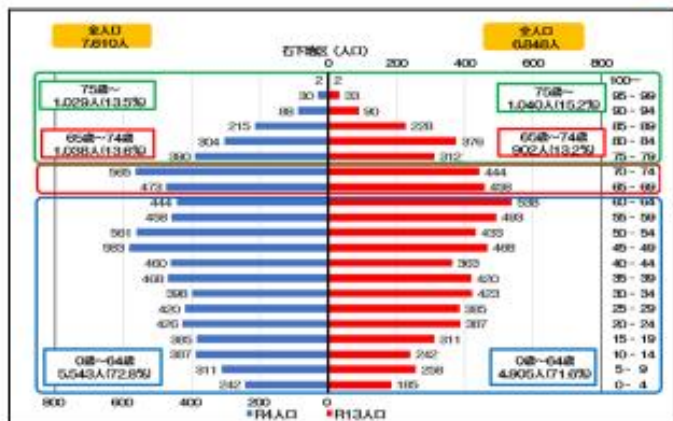
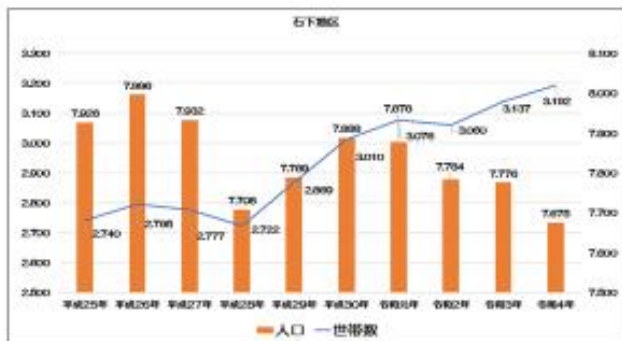


石下地区の現状

平成25年から令和4年までの10年間の人口と世帯数の推移です。人口は減少しましたが、一方で世帯数は増加しており、1人暮らし、核家族化が進んでいると思われます。



令和4年と令和13年の年齢別人口の比較(推定)です。75歳以上の割合が増加し、一方で0歳～64歳、65歳～74歳の割合が減少し、さらに若い年齢層になるにつれて、人口数が減少し、少子高齢化・人口減少が進むと推測されます。

第1回意見交換会の詳細な内容・資料は、こちらから



表のとおり少子高齢化・人口減少が進んでいきますが、このことは悪いことではなく、社会状況がそのように変わっていくということです。それに伴って、地域で今まで出来ていたことが出来なくなったりと、地域活動も変わっていくので、皆さんで地域の今後を考えていきましょう。

第1回講演会・意見交換会の様子・感想



- ・全員が意見が言える雰囲気を作りたい！定性から定量になってこそ課題になると思います。
- ・素晴らしい企画をありがとうございます。
- ・回数を重ねることが重要です。
- ・継続的に、次回あるときは多くの人を連れてきたいです。

10名(20代～70代)が参加!



第1回意見交換会の意見については、見開きの中です！めくってみんなの意見を見てください！！

子育て世代も必見!

第2回石下地区意見交換会

子どもからお年寄りまでが
住みやすい地域にするために

2023年3月5日(日) 9時～11時

石下総合福祉センター(新石下4365)

対象 石下地区にお住まいの方が関係のある方ならどなたでもOK!
(小中学生, 高校生, 大学生の参加もお待ちしております)

申込み 問い合わせ先にご連絡ください。(当日参加もOK!)

初参加の方大歓迎♡

電子申請はこちらから↓



アドバイザー



渡邊 多恵子 氏

(淑徳大学大学院
看護学研究科教授)

話し合いの内容

- ①第1回意見交換会の意見の確認
(意見は内側に記載してあります)
- ②意見の追加・整理
- ③整理した意見の注目度や取り組みしやすさの順位付け

友達と一緒に参加しましょう!

お子様もOK!
おもちゃもあるわよ



無料よ!



第1回意見交換会の参加者からの意見はこちら!

主催
問い合わせ先

常総市市民生活部市民と共に考える課
TEL 0297-23-2111 (代表)

石下地区第1回の意見 (2グループ)

1. 「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか？」

- 1
- ・高齢化なのか祭りの祭事ができにくくなっている
 - ・まつりが減った
 - ・近所の付き合いが少ない
 - ・コロナ禍で人とのコミュニケーションが極端にすくなっている
 - ・自治会の新年会のとりやめ
 - ・自治会の会合が開催できない
 - ・自治会共同作業の参加者減る
 - ・子どものおはようが多いが大人は少ない

- ・子育て世帯の割合が多いと感じる
- ・小さい子どもたちが増えた
- ・休みの日に子どもの声が聞こえない
- ・子供会の組織化が困難になっている
- ・小学生が減った
- ・赤ん坊が少ない

- ・荒地が多い
- ・田んぼを作る人が減った(農家)



- ・金銭的に余裕がない
- ・自分のことで精いっぱい
- ・葬儀の仕方が変わった
- ・常総線の利用者が減った
- ・働き手(若手)が少ない
- ・バス停の清掃
- ・野良犬が少ない
- ・自転車に乗っている人が増えた
- ・地元を代表する名産品がある

- ・高齢者が増えてきている
- ・自治会内の高齢化により役員ができない



- ・アパートの人たちが地域の活動に参加してくれて、にぎやかになる
- ・アパートが増えた
- ・空き家が多い



- ・ゴミの投げ捨て
- ・不法投棄が多い
- ・ゴミ捨てが守られている集積所
- ・資源ごみ収集場 収集物以外のものが捨てられる



- 2
- ・資源回収の人手が少なくなった
 - ・資源ごみ、集積所の分別が出来ていない



- ・総合病院がない
- ・大型書店がない
- ・商店街廃れた
- ・石下駅無人化
- ・駅前通り拡幅



- ・路面の凸凹がひどい
- ・側溝がむき出し(蓋がない)



- ・お祭りできない(子供会少ない)
- ・子供会に入らない人が少しずつ増えている
- ・子どもの神輿をかつく人手が足りない
- ・小中学生が少なく行事が出来ない

- ・近隣の人がわからない
- ・近所の付き合いが減少している
- ・高齢化、高齢者の単身増加
- ・独居の方のサポートをどうするか
- ・自治会に入っていない世帯がある(若い人)



- ・消防団の団員が増えない

- ・下水道がエリアによってない
- ・都市ガスがない
- ・車がないと生活しにくい



- ・戸建てもアパートも増加
- ・空き家が生じる可能性がある
- ・建物が50年以上であるが、危険性

- ・鬼怒川サイクリングロード整備



- ・地区内でPCR検査が受けられない

2. 「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか？」

- 1
- ・コミュニティがとれるまち
 - ・向こう3軒両隣、気軽に声を掛け合える
 - ・祭りでにぎわう子どもと大人が一つになれる
 - ・人が集まるまち
 - ・お互い助け合うまち



- ・衛生的でキレイなまち
- ・自然の場



- ・名物がたくさんあるまち
- ・観光地化に疑問がある

- ・安心安全
- ・災害時に強い



- ・働く場所
- ・雇用、働く場所
- ・働く場所があるまち
- ・農業、6次産業
- ・モノづくり工場が増えるまち
- ・子育て後の主婦が仕事に復帰しやすいまち

- 2
- ・医療機関がしっかりある
 - ・医療機関がある
 - ・医療の充実したまち



- ・防災をみんなで取り組む



- ・学校が近い



- ・子育てのしやすいまち
- ・子育てしやすい
- ・子育てと仕事を両立できるまち



- ・中・高生がお年寄りと触れ合える行事
- ・高齢者が暮らしやすい



- ・子どもが不自由を感じない
- ・妊婦さんの安心できるまち
- ・医療が充実したまち
- ・教育が充実したまち
- ・教育施設



- ・イベントが多いまち
- ・参加型イベント

- ・公共交通の充実
- ・税金が安い
- ・税金が安いまち



- ・コミュニティバスがたくさん走るまち
- ・鉄道がずっと存在するまち
- ・年をとっても運転できる(自動運転)
- ・交通の利便性が高い
- ・利便性が高い(病院、買い物)

- ・街灯が明るいまち
- ・歩道が整備されている
- ・路面がきれいなまち
- ・衛生的なまち



- ・充電設備(EV)が多い
- ・生活コスト(主にガス)が安い町



- ・多様な店のあるまち